

「小住宅こそオンライン見学会」part 1

—企画から事前収録と編集まで—



アーバントリップ
実行委員会
中村雅子
(本企画コーディネーター)

2020年度、アーバントリップ実行委員会では従来集ったバスツアーや徒歩見学会が実施できず、やきもきしてました。その中、今までご要望が多かった「小住宅の名作」「清家清 自邸=私の家」の見学会をオンラインで開催することができました。

コロナ禍の中、慣れない対策を取りながら実施した経緯を2回に分けてお話しします。

Phase 1: はじめ 八木幸二・ゆり(清家清氏ご長女) 夫妻から、リモート見学会にご協力いただける旨、承諾を得て動きだしました。

Phase 2: 企画 実施の約2カ月前に八木夫妻に実際の「私の家」をご案内していただき、資料の提供と質問やエピソードなどをうかがいました。事前に大まかな構成を考えておき、この下見でのヒアリングを加味して見学会のシナリオを作成することが、事前の撮影と実際の配信に向けて非常に大切なことでした。事前撮影ではこのシナリオに沿って撮影し、補足写真などの画像も入れた動画を元編集し、それを委員で進行に合わせながら再編集するという順序で進めました。(大川直治)

Phase 3: 事前収録 狭い路地のような小径を抜けると異空間「私の家」がありました。八木夫妻に案内してもらいながら自由に語っていただき、一気に撮ることにしました。違いのわかる女性、八木ゆりさんの勢いのあるトークと、控えめに、しかしさりげなくプロの目線で補うご主人の幸二さんの絶妙なコンビネーションのおかげで、2時間あまりの撮影はスムーズに終わりました。これを編集で1時間にまとめるわけですが、この長さは、私がNHK報道局時代に撮ったNHKスペシャル並みです。(浜谷修三)

Phase 4: 事前録画の編集 収録した2時間の動画を半分の1時間に短縮する編集作業は、アーバントリップ委員総出でhamaproに、無理をお願いしながら実現しました。



「私の家」
内部を見学



hamaproによる事前収録

Phase 5: 本番の構成を考える 配信の構成としては、当日の現地からのライブ映像と事前撮影動画を交互に配信することにより、八木ご夫妻との直接のやりとりを大切にしながら、「私の家」の臨場感を伝えることを意図しました。具体的には、事前撮影動画は20分程度の3部構成とし、合間合間に感想や質疑なども入れておく構成を取りました(NHKの「日曜美術館」のような構成)。事前編集では、元編集動画を1時間程度に短くするとともに、話の内容を補足する図面・写真・説明文を入れました。事前に資料をダウンロードしていただけるようにしましたが、動画を見ながら図面や写真を見られるようにしたことで、理解度が深まり、小規模な住宅で画角に納まり切らない範囲をカバーできたのではないかと思います。これは事前に撮影したからこそできることで、大変有効だと思います。(大川直治)

次号につづく▶

●執筆協力者



アーバントリップ委員
大川直治
(企画協力)



hamapro
浜谷修三
(映像撮影&編集)



新国際通信社
神村正晴
(協力)



アーバントリップ委員
南 知之
(ライブ配信: Zoom
画面管理)

オンラインセミナー開催概要

第92回 JIA アーバントリップ 「私の家」から清家清を探る
2020年10月22日(木) 17:00~19:00 CPD:2単位
主 催: JIA 関東甲信越支部アーバントリップ実行委員会
協 賛: 旭ビルウォール株式会社、株式会社イケガミ、三協立山株式会社、株式会社ユニオン、株式会社LIXIL
案内者: 八木ゆり(清家清氏 長女)、八木幸二(建築家・養蜂家・東京工業大学名誉教授・京都女子大学名誉教授)
オンライン: Zoom ミーティング(参加者100名)
アンケート: Google フォーム
オンライン会場: 「清家清・私の家」無線インターネットサーバーレンタル配信